

日本中東学会第 22 回年次大会プログラム

2006 年 5 月 13 日(土)～14 日(日)

於：東京外国語大学府中キャンパス

第一日 5 月 13 日(土)

会場：研究講義棟 101 教室

12:30 受付開始

13:30 開会の辞 (主催者)

13:45～16:45

公開パネル(英語)

"The Evaluation of Asian Diplomatic Policies:

The Middle East: Experience in China, Korea, Mongolia and Japan."

(アジアの対中東外交政策を検証する 中国, 韓国, モンゴル, 日本の経験から)

報告：片倉邦雄(元在エジプト, イラク日本国大使, 元大東文化大学教授)

楊光(中国社会科学院西アジア・アフリカ研究所所長, 中国中東学会副会長)

チェ・チャンモ(建国大学校, 韓国中東学会会長)

ニヤムザグド・スフラグチャー(経済商業校学長, モンゴル中東学会会長)

討論者：木宮正史(東京大学)三船恵美(駒澤大学)

ザフラー・ターヘリー(東京外国語大学)

司会：定森大治(朝日新聞社)

17:00～18:00

日本中東学会総会

18:15～20:00

懇親会(学生会館円形ホール)

第 2 日

研究発表 会場：研究講義棟 1 F

第 1 会場 (108 教室)

9:30-10:10

(1-1) 今堀 恵美(東京都立大学大学院)

持参財としての手仕事 ウズベキスタン・ブハラ州カシュタ(刺繍)制作の事例から

10:15-10:55

(1-2) 河原 弥生(日本学術振興会特別研究員)

コーカンド・ハーンの系譜書 母系サイドの検討

(コーヒーブレイク)

11:10-11:50

(1-3) 原山 隆広(東京大学大学院)

イブン・ハッスール著『トルコ人の優越』について

11:55-12:35

(1-4) 大河原知樹(東北大学)

イスラム法廷史料再考 アーカイバル・サイエンスと<イスラム法廷台帳学>の可能性

(12:35-14:00 昼食)

14:00-14:40

(1-5) 小笠原 弘幸(日本学術振興会特別研究員)

オスマン朝建国説話におけるルーム・セルジューク朝の位置

14:45-15:25

(1-6) 宮下 遼 (東京大学大学院)

オスマン詩人のイスタンブル 16世紀都市頌歌に見るイスタンブル観
(コーヒーブレイク)

15:40-16:20

(1-7) 高畑 祥子 (東北大学大学院)

オスマン帝国期におけるミッション・スクールの役割 ロバート・カレッジ学長の回顧録から

第2会場 (107 教室)

9:30-10:10

(2-1) 長岡 慎介 (京都大学大学院)

現代イスラーム金融における取引契約の考察 ムダーラバ契約, ムシャーラカ契約, ムラーバハ契約を中心に

10:15-10:55

(2-2) 飯山 陽 (東京女子大学非常勤講師)

イスラーム法理論およびファトワーにおける公益あるいは公共善としてのマサラハ
(コーヒーブレイク)

11:10-11:50

(2-3) 前田 君江 (東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所共同研究員)

1946年「イラン・ソ連文化協会作家会議」と新体詩論の展開

11:55-12:35

(2-4) 西尾 哲夫 (国立民族学博物館)

誰がために乳房はゆれる ベリーダンスをめぐる身体と言説の現代的変容
(12:35-14:00 昼食)

14:00-14:40

(2-5) 大川 真由子 (日本学術振興会特別研究員)

オマーンおよびザンジバルにおける「アラブ性」 アフリカ系オマーン人のエスニシティをめぐる一考察

14:45-15:25

(2-6) 縄田 浩志 (鳥取大学)

スーダン東部, ベジャ族の適応機構と歴史的生存
(コーヒーブレイク)

15:40-16:20

(2-7) 小杉 麻李亜 (立命館大学大学院)

文化装置的アプローチからみたクルアーン 人類学の方法論とフィールド調査から

16:25-17:05

(2-8) 外山 健二 (筑波大学大学院)

ポール・ボウルズのフランスからモロッコ シュールリアリズムと民族誌学

第3会場 (113 教室)

9:30-10:10

(3-1) 錦田 愛子 (総合研究大学院大学大学院)

ヨルダン系パレスチナ人におけるディアスポラ・アイデンティティの現状

10:15-10:55

(3-2) 飛奈 裕美 (京都大学大学院)

インティファダ期東エルサレムにおけるパレスチナ抵抗運動 「聖地の空間」をめぐる記憶のポリティクス
(コーヒーブレイク)

11:10-11:50

(3-3) 鶴見 太郎 (東京大学大学院)

シオニズムの歴史社会学 ロシア帝国とナショナリズム

11:55-12:35

(3-4) 小島 宏 (国立社会保障・人口問題研究所)

欧州在住ムスリムと移民に対する態度

(12:35-14:00 昼食)

14:00-14:40

(3-5) 富永正人 (東京外国語大学大学院)

現代標準アラビア語の語末母音等の脱落について アル・ジャズィーラのニュース放送を題材に

14:45-15:25

(3-6) Abdul Latif Zoya (首都大学東京大学院)

The Shaping Factors of the Rapid Urban Change in the Eastern Sector of Old Saida (Lebanon).

第4会場 (109 教室)

9:30-10:10

(4-1) 関口 陽子 (東京大学大学院)

トルコの民族主義者行動党 (MHP) 軍事訓練キャンプの虚像と実態 1960年代後半から70年を中心に

10:15-10:55

(4-2) 米山 知子 (総合研究大学院大学大学院)

現代トルコにおけるアレヴィーの宗教舞踏セマーの展開 (コーヒーブレイク)

11:10-11:50

(4-3) 宮澤 栄司 (上智大学アジア文化研究所客員研究員)

トルコのチェルケス人「ディアスポラ」 強制移住から再定着へ

11:55-12:35

(4-4) 丸山 英樹 (国立教育研究所)

トルコの教育改革 EU加盟問題と関連して

(12:35-14:00 昼食)

14:45-15:25

(4-6) 松永 泰行 (同志社大学一神教学際センター フェロー)

比較視座におけるイラン国家 民主化論, 世俗化論との関わりにおいて (コーヒーブレイク)

15:40-16:20

(4-7) 岩崎 葉子 (アジア経済研究所)

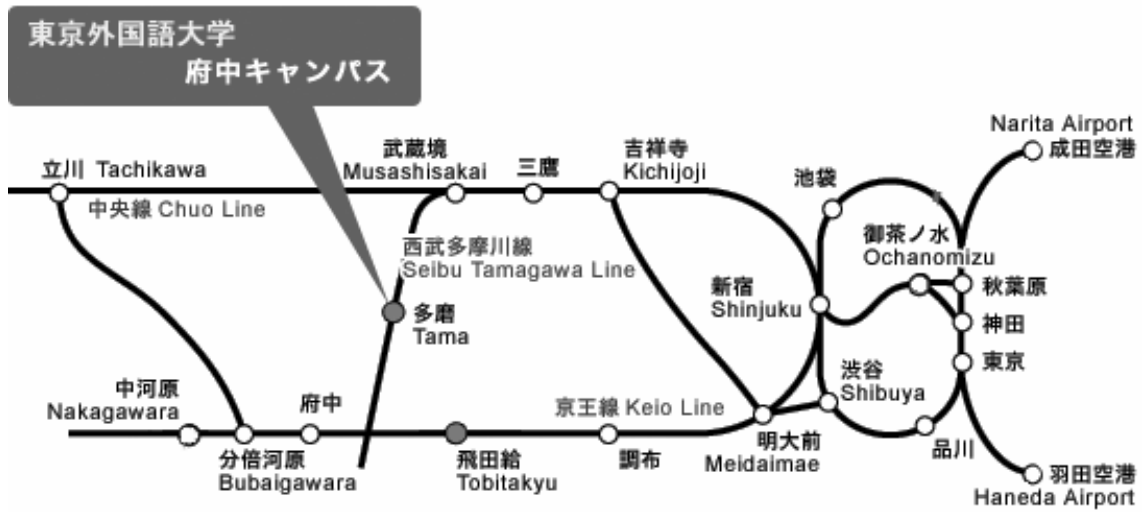
イラン貸借法制度におけるサルゴフリーと haqq-e kasb o pishe o tejarat

16:25-17:05

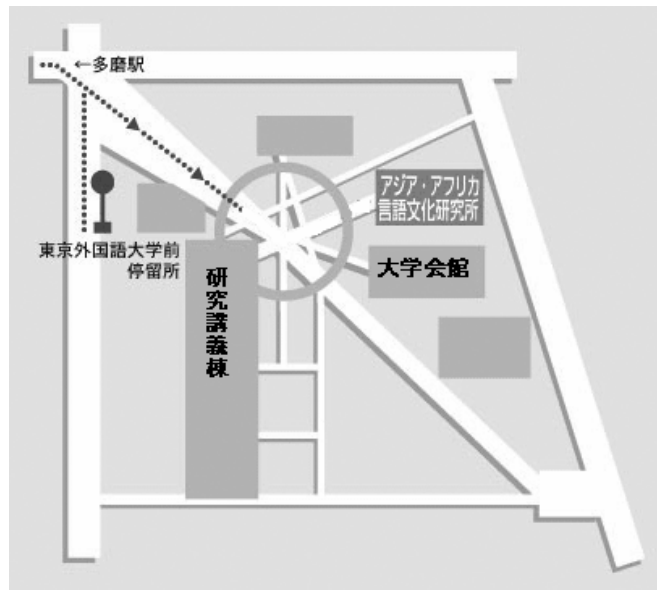
(4-8) 米田 憲市 (鹿児島大学)

規範としての契約: イラン・イスラーム共和国の大学生の場合 23 カ国/地域の国際比較から

会場案内



- ・西武多摩川線 多磨駅より徒歩約5分 改札を出て、左手に進み、地下通路へ左折し、東へ進む
- ・京王線飛田給駅北口または調布駅北口より多磨駅行きバス
東京外国語大学前停留所 下車徒歩1分（飛田給駅北口からは約13分間隔バス所要時間約7分
調布駅北口からは約25分間隔バス所要時間約17分）



構内案内図

大会実行委員会

大塚和夫（委員長）、近藤信彰（事務局長）、新井和広、飯塚正人、黒木英充、堀井聡江、林佳世子、八木久美子、山下王世、赤堀雅幸、臼杵陽、栗田禎子、酒井啓子、三浦徹

大会事務局

〒183-8534 東京都府中市朝日町3-11-1

東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所

近藤信彰研究室気付 FAX 042-330-5543 E-mail: jameet@aa.tufs.ac.jp